



令和5年度 第3回 新栄高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和5年12月22日（金）15:45～17:00

場 所：新栄高等学校 応接室

出席者：学校運営協議会委員4名（欠席3名）校長、副校長、教頭、事務長、各GL

次 第：

- 1 校長挨拶
- 2 令和5年度学校評価中間報告（各GL）

（管理運営グループ）

- ・防災マニュアルの見直しを実施した。職員研修等で有事の際に向けて徹底を図りたい。地域連携については、周知不足との反省あり。
- ・みどり支援学校との連絡調整や合同訓練を今後充実させたい。

（開発推進グループ）

- ・地域清掃活動を1クラスで実施した。今後も複数回予定している。
- ・地域イベントに部活や在県の生徒が参加し、日頃の教育活動の成果を発揮した。
- ・学校説明会・見学会では（在県）生徒が運営に主体的に参加した。

（学習支援グループ）

- ・カリキュラム編成について改善に向けた検討を重ねた。
- ・授業改善に向けた相互観察を複数回実施した。
- ・夏期講習等で多文化教育に係る新たな取組を実施した。

（生徒支援グループ）

- ・本校の生徒指導を理解した上で入学してくる生徒が増え、頭髪・服装違反生徒の数は減少している。
- ・近隣苦情は例年より減少したが、社会的モラル・マナーについては引き続き指導が必要である。

（生徒会グループ）

- ・部活の活性化は学校の活性化に繋がると考え、加入率の向上に向け、様々なアプローチを実施している。
- ・体育祭・文化祭は無事に終了した。入場者は条件付としたため、中学校には集約等について負担をかけることとなった。

（進路支援グループ）

- ・現段階で3年生の80パーセントが進路を決定している。志望理由書や面接の練習をきめ細かく行った。
- ・実用英語技能検定やニュース検定を校内で実施し、生徒のスキル向上を支援した。

3 質疑及び意見聴取

委員 A	<p>Q 自所属でも年に2回避難訓練があるが、混乱を避けるために避難経路や役割分担ははっきりしている。新栄高校で防災訓練実施時には、全生徒がグラウンドに避難するまでにどのくらい時間がかかるのか。</p> <p>A 避難経路については、新学期早々に生徒達には周知している。過去の実施の際には全員が避難を終了するまでに20分くらいはかかっている。</p> <p>Q 高校生が安心できる居場所はどこか。在県生徒は水曜日の放課後支援が教科指導、生活指導、進路指導等を行う上で重要である。</p> <p>A 放課後の生徒の目は、部活動ではなく学校の外（バイト、友人との交友等）に向いている感がある。とは言え、学校が拠り所になっている生徒もいる。</p>
委員 B	<p>Q 部活の仮入部はマストなのか。</p> <p>A 希望者を対象としている。新入生には部活オリエンテーションで紹介→見学→仮入部としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学でも定期的に避難訓練を実施しているが、災害時はマニュアル通り行かないことも多々あることを想定し、記録を取り改善に活かしている。
委員 C	<p>Q 地域清掃は何の時間を使って実施しているのか。学校単独実施ではなく、町内会とのつながりは考えているのか。</p> <p>A ロングホームルームの時間で、1クラスを6方面に分けて実施した。今後は実施クラスを増やして行きたい。</p>
委員 D	<p>Q コロナ禍が長く続いたが、学校生活にはどのような影響が出たのか。</p> <p>A 生徒の質も変化し、公共施設や商業施設からの苦情は減少し、対応件数も減少した。</p> <p>Q 部活動の加入率目標達成できなかった原因は何か。</p> <p>A 学業優先を理由にやめていく生徒が多いが、実態はそうではない。勉強に真面目に取り組む生徒が増えたが、部活と両立できる生徒は少ない。</p>
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流や地域交流が活発になり、生徒にとっても良い環境で学べるようになっていいる。学校における活動も定期的なPTAの会議の中で共有されることがあり、保護者も学校の取り組みが感じられるためPTAの保護者の中でも評判が良い。 ・部活動の加入率を向上させるための具体的な改善策が記載されていないため、記載してはどうか？ ・今年の夏は長期間続いたため、衣替えの時期を柔軟に変更してはどうか？暑い季節の中、ブレザーを着用することに疑問のある保護者が多かった。 ・「危機管理」については、改善策の中で「検討する」で終わらせず、「マニュアルを周知するために●●する」と言い切りにしなければ学校の危機管理体制に生徒や保護者としては疑義が生じる。
委員 F	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習や夏季特別講座、地域連携などを活用して特色のある教育活動を実施されている。さらに教育効果が高められるよう改善方策を進めていってもらいたい。 ・部活動や学校行事の活性化が伺える。生徒が充実した活動を継続することで定着が図れると思われる。引き続き課題と改善の取り組みをお願いしたい。 ・生徒が司会や説明をすることや動画等で生徒活動の様子を見ることができると活動の雰囲気がよく伝わり その場の雰囲気も堅苦しくなく和らいでくると他の学校の説明会で感じた。今後もぜひ続けていってもらいたい。
委員 G	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生イベントは、とても素晴らしい取り組みだと思います。ダンス部や吹奏楽部のみなさん、在県生徒さんの読み聞かせなど活躍の場面をたくさん見ることができました。本校の分教室へもお声をかけていただいたことで、生徒たちにとって素晴らしい学びの機会をいただきました。心から感謝いたします。 ・防災訓練において、本校分教室との連携を評価に入れていただき、ありがとうございます。本校としても避難訓練は、命にかかると重要な取り組みととらえ、実践しております。分教室のみの訓練では難しい部分もありますので、引き続きよろしくお願いたします。今年度は、教員対象の学習会や救急法の講習会に分教室の職員も参加させていただき、大変ありがたかったです。職員同士の連携は十分に達成していただいていると思っております。

第3回地域連携部会 16:45～17:00

☆学校より

- 夏期講習「ボツワナ大使館訪問」を契機とし、理科担当者1名の授業でSDGsとボツワナ共和国に関する調べ学習を実施した。この学習の成果を本校生徒の多文化教育アウトプット活動の一環として、都筑区の周年事業や地域イベントと絡めて発信していきたい。具体的には、来年3月実施予定のつづきMYプラザ主催「プラザまつり」への参加に向けて調整を進めていきたい。